2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	職業関連技術論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15　(1)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期　月1・2	教室名	403号室、学外
担当教員	本家　寛文	実務経験とその関連資格	作業療法士として身体障害者領域・精神障害領域・老年期障害領域で勤務し、作業療法評価・治療を経験してきた。生活行為向上マネジメント実践者研修修了。			

《授業科目における学習内容》

対象者の職業関連活動上の問題点説明や就労支援の理論や介入技法・留意点の説明ができるように、以下の5点について学ぶ。①職業の意義、人が働くことの意味(生活や発達などの側面、文化的背景)。②就労支援に関する作業療法理論。③就労に係る諸制度やその歴史、支援技術。④職業関連活動の定義、就労支援に関する作業療法士の役割。⑤就労支援の対象となる人と場、作業療法の評価・治療過程。

《成績評価の方法と基準》

期末試験95%、平常点(態度・準備)5%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

参考書: 作業療法学全書 第12巻 作業療法技術学4 職業関連活動［改訂第3版］(協同医書出版社)
ゼロから始める就労支援ガイドブック(株式会社　メジカルビュー社)

《授業外における学習方法》

授業を理解するために予習フィードバックタイムを有効化し、復習を通し、確認する。

《履修に当たっての留意点》

講義内容を自身で言語化できることがポイント！

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	職業関連活動の概念・就労支援に関する作業療法の役割について説明できる。関係職種・機関との連携を理解する。	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、職業関連活動概説や就労支援の作業療法をわかりやすくイメージできるように展開していく。		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者にとっての就職の意義について理解する。	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
		各コマにおける授業予定	障害者と職業・障害者の就労について		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	職業リハビリテーションに関わる法律の概要や関連施設について理解する。	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
		各コマにおける授業予定	職業リハビリテーションの概念及びその概念		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	就労支援における作業療法士の役割を理解し、説明出来る。職業関連活動での作業療法評価過程を理解する。	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
		各コマにおける授業予定	職業関連活動における作業療法		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	身体障害領域、精神障害領域(高次脳機能障害を含む)、知的障害領域の支援について理解を深める	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
		各コマにおける授業予定	障害別就労支援の実際 就労支援事業所の見学		

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	身体障害領域、精神障害領域（高次脳機能障害を含む）、知的障害領域の支援について理解を深める	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
		各コマにおける授業予定	障害別就労支援の実際 就労支援事業所の見学		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者職業センターの見学・講習でセンターの機能について学ぶ	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
		各コマにおける授業予定	障害者職業センターの見学		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者職業センターの見学・講習でセンターの機能について学ぶ	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
		各コマにおける授業予定	障害者職業センターの見学		